

9V大画面を300車種以上に装着できる
フローティング型、彩速ナビ

地上デジタルTVチューナー/Bluetooth内蔵
DVD/USB/SD AVカーナビゲーション

MDV-M909HDF

オープン価格(実勢価格16万3000円前後)



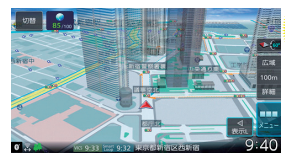
↑彩速ナビのフラッグシップとなるTYPE Mのなかでも最大となる9V型HDディスプレイを採用。定評あるナビ機能に加え、ドライブレコーダーとの連携、スマホとのWi-Fi接続、各種ハイレゾ音源フォーマット対応など、多彩な機能も特徴

↓対応するAndroidスマホとWi-Fi接続できるワイヤレスミラーリング。オプション不要で、スマホのハイビジョン映像をナビ大画面で楽しめる

Point 3 Androidスマホからの動画をワイヤレス&HD画質で楽しめる!



↑別売の10.1V型リヤモニター「LZ-1000HD」をHDMI接続することで、ナビで再生中のHD映像を後席でも視聴できる



↑HDパネルに合わせてチューニングした高精細なHD描画マップ。見やすさにこだわった地図色「スマートカラー」を新たに採用

Point 5 HD解像度に合わせて高精細地図画面



↑位置関係がわかりやすい2Dから、遠方まで見渡せる3Dまで、地図の俯瞰を1度単位で自分好みに調整できる3Dスライダー



↑ケンウッド独自の高速描画技術やデータ圧縮技術に加え、処理能力の高いデュアルコアCPUを搭載することで高速レスポンスを実現

Point 4 サクサク&ヌルヌル! 定評あるハイレズポンス



↑モニター右側に静電容量式タッチキーをレイアウト。AVソース切替やボリューム調整など、よく使うボタンを配置し、操作性を向上



↑フローティング構造とすることで、9V型大画面ながら、新車や既販車など約300車種以上への装着を実現。一部トヨタ車やホンダ車などに対応する9V型インダッシュモデル「MDV-M909HDL」もラインアップ

ナビとドライブレコーダーの連携により高機能&高精度化

装着率が年々向上し、買い替え需要も増えているドライブレコーダー。そんななかシェアを伸ばしているのが、カーナビと連携するドライブレコーダーだ。高画質と高速レスポンスに定評のあるケンウッドの、彩速ナビは、全モデルに同社製ドライブレコーダーとの連携機能を搭載。なかでもフラッグ

グリップのタイプMシリーズは、ドライブレコーダーの映像をナビ画面にHD画質で再生可能。2/4倍の拡大表示にも対応し、状況を詳細に確認することができる。またナビ連動モデルならではの高精度な位置情報もメリットだ。一般的なドライブレコーダーの場合、位置情報は本体のGPSのみ、しかしケンウッドのナビ連動モデルの場合、ナビのGPS、準天頂衛星システム「みちびき」、6軸センサー、車速センサーなどナビ側のセンサーを使用するため、より正確な位置情報を取得できる。交通事故やトラブルなどの際の証拠能力も格段に高まるというわけだ。さらに彩速ナビのタイプMシリーズでは、新機能のワイヤレスミラーリングにも注目。アンドロイドスマホとワイヤレスで接続し、スマホ動画をナビの大画面で、しかもHD画質で楽しめるのだ。YouTubeをはじめ、各種動画サービスに対応するので、もう、長距離ドライブで大量にDVDを持ちこむ必要はない。ナビ連動ドライブレコーダーで交通トラブルなどへの不安を低減し、ワイヤレスミラーリングで車内も退屈知らず。家族で出かける機会の多い、アクティブなファミリーユーザーに、とくにオススメの組み合わせだ。

KENWOOD

☎ケンウッド 0120・2727・87
www.kenwood.com/jp/



ナビもドライブレコーダーも動画コンテンツも!!!

ぜんぶHD画質で楽しめる!

デジタルルームミラーとしても使えるナビ連携型ドライブレコーダー

ナビ連携型デジタルルームミラー型ドライブレコーダー

DRV-EMN5700

オープン価格(実勢価格5万5000円前後 ※今夏以降発売予定)



↑デジタルルームミラーとしても使えるドライブレコーダー「ミラレコ」の最新モデルはナビ連携専用。11インチ液晶を搭載し、前後カメラともにソニー製CMOSセンサーSTARVISを採用。暗いシーンでも鮮明な録画を実現する

連携!!

彩速ナビとドライブレコーダーがHD高画質で連携!!



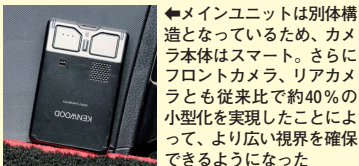
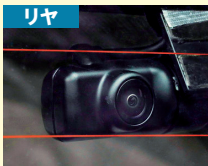
ナビ連携型 前後撮影対応2カメラドライブレコーダー

DRV-MN970

オープン価格(実勢価格4万4000円前後 ※7月上旬発売予定)



↑前後とも暗いシーンに強いソニー製高感度CMOSセンサーを搭載。録画画質はフルHDで、組み合わせるナビに合わせてHD/VGAを自動で切り替えて伝送する



↑メインユニットは別体構造となっているため、カメラ本体はスマート。さらにフロントカメラ、リアカメラとも従来比で約40%の小型化を実現したことによって、より広い視界を確保できるようになった

カメラの小型化でスッキリ装着できる
ナビ連携型ドライブレコーダー

上で紹介している「ミラレコ」「DRV-EMN5700」と同じく、「彩速ナビ」2022年モデルの全ラインアップと連携できる専用ドライブレコーダー「DRV-MN970」。録画中の映像のピクチャーインピクチャー再生や、優れた自車位置精度など、基本的な機能は「DRV-EMN5700」と同様。ナビ画面にリヤカメラ映像を表示し、バーチャルルームミラー&サブリヤカメラとしても機能する。



↑彩速ナビと連携し、ドライブレコーダーの映像をナビ画面で確認可能。高精細なHD画質で、録画映像の拡大表示(2倍/4倍)にも対応する



↑ナビの地図画面に録画映像をピクチャーインピクチャーで表示するとともに、自車の走行位置や走行軌跡の確認も可能

ミラー型ならではの使いやすさ



↑本体の装着は純正ミラーに固定バンドで留めるだけ。スライド式フロントカメラにより、右ハンドル車の運転手に近い視点で録画可能



↑表示エリアや画面輝度などの調整も、タッチパネル式操作でやりやすい。また「録画開始」「表示切替」など音声コマンドにも対応している